

大阪教育大学卒業生・修了生アンケート

◆ 記入要領 ◆

- 大阪教育大学の学部・大学院・専攻科を卒業又は修了後、2年・3年・5年・10年・20年を経過された方に調査の御協力をお願いしています。
- 問1の質問は、統計処理上のもですが、選択式の設問では□内に該当する番号を記入いただき、記述が必要な箇所は、□(2重線)内に記述してください。
問2以降がアンケート項目となります。
 - 択一式の設問では、御自身のお考えに最も近いものを1つだけ選び、該当箇所の□に✓を記入してください。
 - 記述式の設問では、必要事項とともに御自身の御意見を簡潔に記述してください。

問1 統計処理上、必要となるあなたのことについてお聞きします。該当する番号を□に記入してください。

(1) 年齢は次のどれに該当しますか。

20代 30代 40代 50代以上

問1-(1)

(2) 本学を卒業・修了されたのはいつですか。

問1-(2)

学 部：西暦（昭和・平成）	年	月卒業
大学院：西暦（昭和・平成）	年	月修了
専攻科：西暦（昭和・平成）	年	月修了

(3) 性別はいずれですか。

男 女

問1-(3)

(4) 現在、あなたはどの職業に従事されていますか。

学校教員	}	問1-(5)へお進みください。
公務員(学校教員を除く。)		}
会社員・団体職員(役員含む)	}	
学習塾講師又は経営		
自営業		
学生		
無職		
その他		

問1-(4)

問1-(4)の回答が の場合に御記入ください。

(5) (4)の設問で①と答えた方にお聞きします。

1) 校種は次のどれに該当しますか。

小学校 中学校 高等学校 中等教育学校 盲・聾・養護学校 幼稚園
大学・短期大学 高等専門学校 専修学校 各種学校

問1-(5)-1)

2) 現在の役職は次のどれに該当しますか。

校長 教頭 教諭 養護教諭 助教諭 養護助教諭 講師 大学・短期大学教員
高等専門学校の校長・教員 専修学校・各種学校の校長・教員
その他

問1-(5)-2)

問1-(5)-2)の回答が の場合に御記入ください。

3) 勤務地は次のどれに該当しますか。

大阪府内 滋賀県内 京都府内 兵庫県内 奈良県内 和歌山県内 その他

問1-(5)-3)

(6) (4) の設問で②又は③と答えた方にお聞きします。

1) 現在、従事されている部門は次のどれに該当しますか。

総務部門 企画部門 研修部門 研究・開発部門 営業部門 その他

問 1-(6)-1)

問 1-(6)-1)の回答が の場合に御記入ください。

2) 現在の職位は次のどれに該当しますか。

一般社員・一般職員 係長相当以上 課長相当以上の管理職
 会社役員・団体役員 派遣社員 パート・アルバイト その他

問 1-(6)-2)

問 1-(6)-2)の回答が の場合に御記入ください。

(7) 最終学歴についてお聞きします。

本学の教育学部 本学の大学院 本学の専攻科
 本学以外の大学・学部 本学以外の大学院 本学以外の専攻科

問 1-(7)

問 1-(7)の回答が , , の場合に御記入ください。

_____大 学_____学 部

_____大学大学院_____研究科(修士・博士後期)

_____大 学_____専攻科

(8) 在学時の所属についてお聞きします。(下表から該当する番号を口々に記入してください。)

問 1-(8)

※ 複数の学歴をお持ちの場合は、すべて御記入ください。

学 部	教員養成課程	第一部小学校教員養成課程 第二部小学校教員養成課程 中学校教員養成課程 障害児教育教員養成課程 幼稚園教員養成課程 養護教諭養成課程 特別教科(数学)教員養成課程 特別教科(理科)教員養成課程 特別教科(音楽)教員養成課程 肢体不自由児教育教員養成課程 言語障害児教育教員養成課程 病虚弱児教育教員養成課程
	教養学科	21 人間科学専攻 22 文化研究専攻 23 数理科学専攻 24 自然研究専攻 25 情報科学専攻 26 スポーツ・健康科学・生活環境専攻 27 芸術専攻
大 学 院	教育系	31 学校教育専攻 32 障害児教育専攻 33 国語教育専攻 34 英語教育専攻 35 社会科教育専攻 36 数学教育専攻 37 理科教育専攻 38 家政教育専攻 39 技術教育専攻 40 音楽教育専攻 41 美術教育専攻 42 保健体育専攻 43 養護教育専攻 44 実践学校教育専攻
	教養系	51 国際文化専攻 52 総合基礎科学専攻 53 芸術文化専攻 54 健康科学専攻
専攻科	特殊教育 特別専攻科	61 言語障害教育専攻

アンケート項目

設問ごとに御自身のお考えに最も近いものを1つだけ選び、該当箇所の口に✓を記入してください。

なお、記述をお願いしている箇所は、御記憶の範囲で、設問の趣旨に沿って記述してください。

共通設問		(1) 大変そう 思う	(2) そう 思う	(3) あまり 思わない	(4) 思わ ない	(5) わから ない
問2 大阪教育大学に対する現在のあなたのイメージについてお聞きします。						
(1)	歴史・伝統がある。					
(2)	校風・雰囲気が良い。					
(3)	親しみやすい大学である。					
(4)	理念が明確で学内に浸透している。					
(5)	著名な教授陣が多い。					
(6)	研究実績が豊富である。					
(7)	教育現場との連携実績が豊富である。					
(8)	産学共同研究の実績が豊富である。					
(9)	国際的な交流が活発である。					
(10)	生涯学習の支援に熱心な大学である。					
(11)	スポーツ・文化活動が盛んである。					
(12)	クラブ・サークルなどキャンパスコミュニティが豊かであった。					
(13)	学生と大学教員との交流が盛んである。					
(14)	卒業生と大学教員との交流が盛んである。					
(15)	施設・設備が充実している。					
(16)	世間の評判がよい。					
(17)	将来性のある大学である。					
(18)	大阪教育大学への進学を受験生に勧めたい。					
問3 大阪教育大学の学生支援体制についてお聞きします。						
(1)	就職支援が充実していた。					
(2)	進学支援が充実していた。					
(3)	学生への相談体制(学習, 生活, 進路, 人権等)が充実していた。					
(4)	授業料免除, 奨学金等の経済的支援が充実していた。					
(5)	海外留学制度が充実していた。					
(6)	自主的な学習の支援体制が充実していた。					
問4 リカレント教育・リフレッシュ教育のニーズについてお聞きします。						
(1)	学校教育の実践に重点を置いた大学院レベルの学習機会があれば活用する。					
(2)	職業実務の内容に重点を置いた大学院レベルの学習機会があれば活用する。					

あなたの本学での学歴に応じて、学部 = 4 ページ，大学院 = 6 ページ，専攻科 = 8 ページへお進みください。

【学部】 を卒業された方、全員にお聞きします。

(大学院を修了された方は6～7ページ、専攻科を修了された方は8～9ページのアンケート項目にお答えください。
 なお、本学の学部・大学院・専攻科で複数の学歴をお持ちの方は、すべてのアンケート項目にお答えください。)

問5 学部教育の内容・方法等について、以下の設問にお答えください。		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
学部 に関する設問		大変そう 思う	そう 思う	あまり 思わない	思わ ない	わから ない
(1)	大学教育は、教養教育(一般教育)、専門教育(教員養成課程の教職教育を含みます。)で構成されていますが、それらは、自身の学習目的に沿って有効に編成されていた。					
(2)	幅広い教養が身についた。					
(3)	豊かな人間性が育まれた。					
(4)	高いモラルが身についた。					
(5)	積極性・チャレンジ精神が身についた。					
(6)	生涯にわたって学び続ける能力が身についた。					
(7)	多様な価値観を受けいれることができるようになった。					
(8)	合理的・論理的思考力が身についた。					
(9)	柔軟な発想や豊かな創造力・構想力が身についた。					
(10)	問題を発見し、解決する能力が身についた。					
(11)	コミュニケーション能力が身についた。					
(12)	プレゼンテーション能力が身についた。					
(13)	組織や集団をまとめる統率力・リーダーシップ能力が身についた。					
(14)	IT活用のための情報スキルが身についた。					
(15)	語学力が身についた。					
(16)	実践に役立つ資格が取得できた。					
(17)	専門知識・技術(教職能力を含む。)が身についた。					
(18)	少人数による指導を受けることができた。					
(19)	参加型・プロジェクト型の実践教育が充実していた。					
(20)	職業体験や社会体験の機会が多かった。					
(21)	学習意欲の湧く授業が多かった。					
(22)	大学で得た知識や経験は、その後の人生に役立っている。					

【第二部】 を卒業された方にお聞きします。 第一部を卒業された方は、5ページへお進みください。

問6 第二部についてお聞きします。		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
第二部 に関する設問		大変そう 思う	そう 思う	あまり 思わない	思わ ない	わから ない
(1)	開講時間帯(17:45(20年前は17:30)～21:00)は適切であった。					
(2)	1コマ90分(20年前は100分)の2講時は適切であった。					
(3)	土曜日・日曜日も授業開講日として活用すべきである。					
(4)	教員は、有職者に配慮した指導を行っていた。					

第二部を卒業された方への質問は以上です。引き続き、5ページへお進みください。

問7 印象に残った授業と教育課程区分を3科目以内で挙げていただき、その理由をお聞かせください。

(授業科目名や教育課程区分は、御記憶の範囲で御記入ください。)

授業科目名： _____ [教養（一般教育）科目 ・ 専門科目 ・ 教職科目]

印象に残った理由

授業科目名： _____ [教養（一般教育）科目 ・ 専門科目 ・ 教職科目]

印象に残った理由

授業科目名： _____ [教養（一般教育）科目 ・ 専門科目 ・ 教職科目]

印象に残った理由

問8 大阪教育大学に関する御意見をお聞かせください。（自由記述）

本学で複数の学歴をお持ちの方へ →問8, 問14, 問19は同じ設問ですので、いずれかでの記述をお願いします。

学部を卒業された方への質問は以上です。御協力ありがとうございました。

【大学院】 を修了された方にお聞きします。

(学部を卒業された方は4～5ページ、専攻科を修了された方は8～9ページのアンケート項目にお答えください。

なお、本学の学部・大学院・専攻科で複数の学歴をお持ちの方は、すべてのアンケート項目にお答えください。)

問9 大学院における教育研究活動等について、以下の設問にお答えください。

大学院の教育研究 に関する設問		(1) 大変そう 思う	(2) そう 思う	(3) あまり 思わない	(4) 思わ ない	(5) わから ない
(1)	大学院では授業、研究指導、論文指導等による教育研究活動が行われていますが、それらは、自身の学習や研究の目的に沿って有効に機能していた。					
(2)	教育系の各専攻のカリキュラムは、教育科学、教科教育、教科内容について体系的に編成されていた。					
(3)	教養系の各専攻のカリキュラムは、分野を融合した総合性の高い編成であった。					
(4)	授業は、高度な内容を有していた。					
(5)	授業や研究指導において、実験・実習・演習・調査など多彩な方法を工夫していた。					
(6)	授業や研究指導において、職業現場をフィールドとするケーススタディやグループワークを積極的に導入していた。					
(7)	適切な研究指導体制が確保されていた。					
(8)	修士論文作成のための適切な指導体制が確保されていた。					
(9)	学部教育の基礎の上に、専門分野の研究能力又は技術・技能が身についた。					
(10)	学部教育の基礎の上に、教育実践に関わる研究能力が身についた。					
(11)	学部教育の基礎の上に、有為な教育実践者としての能力が身についた。					
(12)	学部教育の基礎の上に、職業に関わる課題解決能力が身についた。					
(13)	実践に役立つ大学院レベルの資格が取得できた。					
(14)	自身の研究活動を進めるための施設・設備の環境は適当であった。					
(15)	大学院で得た知識や経験は、その後の人生に役立っている。					

【現職教員や社会人】として大学院で学ばれた方にお聞きします。

問10 大学院におけるリカレント・リフレッシュ教育についてお聞きします。

大学院におけるリカレント・リフレッシュ教育 に関する設問		(1) 大変そう 思う	(2) そう 思う	(3) あまり 思わない	(4) 思わ ない	(5) わから ない
(1)	実践に役立つ教育及び研究指導が行われていた。					
(2)	教員は、有職者に配慮した指導を行っていた。					
(3)	現職教員や社会人にとって、修士論文の作成は有意義である。					
(4)	現職教員や社会人にとって、修士論文の作成は負担が大きい。					
(5)	現職教員や社会人には、例えば理論と職業実践の融合などに関するレポートを修士論文に換えるのが適当である。					
(6)	修士の学位に相当する学習・研究成果を得るには、授業料が変わらない長期履修制度(正規の修学年数が2年を超えるもの)が必要である。					
(7)	修士課程に短期履修制度(正規の修学年数が1年程度のもの)を導入することは有効である。					
(8)	土曜日、日曜日、長期休業期間中も授業や研究指導の時間帯として設定すべき。					

【夜間大学院(実践学校教育専攻又は健康科学専攻)】を修了された方にお聞きします。

問11 夜間大学院の開講形態についてお聞きします。

夜間大学院の開講形態 に関する設問		(1) 大変そう 思う	(2) そう 思う	(3) あまり 思わない	(4) 思わ ない	(5) わから ない
(1)	開講時間帯は適切であった。					

問 12 大学院で印象に残った授業を 2 科目以内で挙げていただき、その理由をお聞かせください。

(授業科目名は、御記憶の範囲で御記入ください。)

授業科目名： _____

印象に残った理由

授業科目名： _____

印象に残った理由

問 13 大学院の研究指導の中で最も印象に残ったことがらと、その理由をお聞かせください。

最も印象に残ったことがら： _____

印象に残った理由

問 14 大阪教育大学に関する御意見をお聞かせください。(自由記述)

本学で複数の学歴をお持ちの方へ →問 8, 問 14, 問 19 は同じ設問ですので、いずれかでの記述をお願いします。

大学院を修了された方への質問は以上です。御協力ありがとうございました。

【専攻科】 を修了された方にお聞きします。

(学部を卒業された方は4～5ページ，大学院を修了された方は6～7ページのアンケート項目にお答えください。
 なお，本学の学部・大学院・専攻科で複数の学歴をお持ちの方は，すべてのアンケート項目にお答えください。)

問 15 専攻科における教育研究活動等について，以下の設問にお答えください。

専攻科の教育研究 に関する設問		(1) 大変そう 思う	(2) そう 思う	(3) あまり 思わない	(4) 思わ ない	(5) わから ない
(1)	専攻科では授業，研究指導，論文指導等による教育研究活動が行われていますが，それらは，自身の学習や研究の目的に沿って有効に機能していた。					
(2)	専攻科のカリキュラムは，理論と実践について体系的に編成されていた。					
(3)	授業は，具体的な内容を有していた。					
(4)	授業や研究指導において，実習・演習・調査など多彩な方法を工夫していた。					
(5)	授業や研究指導において，職業現場をフィールドとするケーススタディなどを積極的に導入していた。					
(6)	適切な研究指導体制が確保されていた。					
(7)	論文作成のための適切な指導体制が確保されていた。					
(8)	学部教育の基礎の上に，専門分野の研究能力又は技術・技能が身についた。					
(9)	学部教育の基礎の上に，教育実践に関わる研究能力が身についた。					
(10)	学部教育の基礎の上に，有為な教育実践者としての能力が身についた。					
(11)	学部教育の基礎の上に，職業に関わる課題解決能力が身についた。					
(12)	自身の研究活動を進めるための施設・設備の環境は適当であった。					
(13)	専攻科で得た知識や経験は，その後の人生に役立っている。					

【現職教員や社会人】 として専攻科で学ばれた方にお聞きします。

問 16 専攻科におけるリカレント・リフレッシュ教育についてお聞きします。

専攻科におけるリカレント・リフレッシュ教育 に関する設問		(1) 大変そう 思う	(2) そう 思う	(3) あまり 思わない	(4) 思わ ない	(5) わから ない
(1)	実践に役立つ教育及び研究指導が行われていた。					
(2)	教員は，有職者に配慮した指導を行っていた。					
(3)	現職教員や社会人にとって，論文の作成は有意義である。					
(4)	現職教員や社会人にとって，論文の作成は負担が大きい。					
(5)	土曜日，日曜日，長期休業期間中も授業や研究指導の時間帯として設定すべき。					

問 17 専攻科で印象に残った授業を2科目以内で挙げていただき、その理由をお聞かせください。

(授業科目名は、御記憶の範囲で御記入ください。)

授業科目名： _____

印象に残った理由

授業科目名： _____

印象に残った理由

問 18 専攻科の研究指導の中で最も印象に残ったことがらと、その理由をお聞かせください。

最も印象に残ったことがら： _____

印象に残った理由

問 19 大阪教育大学に関する御意見をお聞かせください。(自由記述)

本学で複数の学歴をお持ちの方へ →問8, 問14, 問19は同じ設問ですので、いずれかでの記述をお願いします。

専攻科を修了された方への質問は以上です。御協力ありがとうございました。